

戦争
と平和
を考える
& 歴史
文化

2015 戦後 70 年

「命のビザ」
「日本のシンドラー」

特別企画ツアー

杉原千畝の足跡とバルト3国



6000人のユダヤ人を救った外交官・杉原千畝ゆかりの地
と中世ハンザ同盟の息吹を感じる世界遺産の街々へ

エストニア・ラトビア・リトアニア 9日間

- 2015年10月29日(木)～11月6日(金)
- 255,000円～299,800円 ● 9月25日締切



杉原千畝ゆかりの地と戦争の爪痕

杉原千畝記念館の見学、ナチスの第9要塞博物館、ソ連時代の蛮行を伝えるKGB博物館を見学

異国情緒あふれる世界遺産の3都市

教会と石畳、城壁に囲まれた街～世界遺産登録のタリン、リガ、ヴィリニユスの旧市街で中世ハンザ同盟の繁栄の歴史と文化に触れる

中世宗教芸術めぐりとラトビア美術

バルトの見どころ中世宗教芸術をタリンの教会で見学、ソ連占領の歴史を伝えるラトビア占領博物館へ

3か国3首都にゆったり連泊型

タリン、リガ、ヴィリニユスに2連泊



ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの (一部例示)
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費 (同行と明示した場合)
 - ・鉄道運賃 (旅程に明示したもの)
 - ・旅程に明示した市内 (郊外) 見学のガイド料、入場料、チップ
- 旅行代金に含まれないもの (一部例示)
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手続費用：旅券印紙代 (新規に申請される場合)
 - ・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証 (ビザ) 取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分
 - ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
 - ・お一人部屋追加料金 (相部屋の方がいない場合も同様)
 - ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
 - ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
 - ・日本国内の交通費、前泊の費用
 - ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料・ツアー料金
- 時間帯の目安

およそ以下の通りです。航空機、バスなどの移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04:00	06:00	08:00	12:00	17:00	19:00	23:00
						04:00

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

ご旅行条件 (要約)

- 募集型企画旅行契約

この旅行は(株)ユーラスツアーズ (以下「当社」) が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約 (以下「旅行契約」) を締結することになります。また旅行条件は下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書 (全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面および当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。
- 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2015年7月1日を基準としています。また、この旅行代金は2015年7月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、または、2015年7月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。
- 旅行契約の解除

最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前までにお知らせします。
- 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます (お一人様)。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】 4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証 (ビザ) 取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第49号 日本旅行業協会JATA正会員 ■ 東京本社 総合旅行業取扱管理者：滝澤泰斗

問合せ 申込先 株式会社 ユーラスツアーズ 〒106-0044 東京都港区東麻布1-26-8 イイダアネックス東麻布4階

☎ 03-5562-3381 FAX 03-5562-3380 担当 榊原
tokyo@euras.co.jp http://www.euras.co.jp 営業時間：月曜日～金曜日/am 09:30～pm 17:30(休業日：土曜日・日曜日・祝祭日)

申込方法

- ① 下記の「参加予約票」に漏れなくご記入いただき、旅行社宛にメール、FAX、郵送等にてお送りください。
※直接お電話あるいはメールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。
※当社ホームページ (http://www.euras.co.jp) からでも直接「正式申込書」にご記入⇒添付してメール/FAX可。
- ② 「参加予約票」あるいは直接のご連絡後、正式申込書と取引条件説明書、必要書類をお送りいたします。
書類到着後に条件を確認いただき、申込書をお送りの上で申込金50,000円 (旅行費用内金) を以下の指定口座へお振込みください。※正式申込書と申込金の到着をもって正式申込となります。
● 口座名義：(株)ユーラスツアーズ
・みずほ銀行神谷町支店普通口座 口座番号：2375324 / ・郵便振替口座：00120-3-163205
※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

キ・リ・ト・リ

株式会社ユーラスツアーズ御中 ※ご友人・知人の方への案内を希望される場合は、②以降の欄にご記入いただければ、同時にご案内申し上げます。

参加予約票 杉原千畝とバルト3国	
①	③
ふりがな	ふりがな
お名前	お名前
住所	住所
メール	メール
②	④
ふりがな	ふりがな
お名前	お名前
住所	住所
メール	メール

設定項目	旅行条件・費用		
旅行期間	2015年10月29日(木)～11月6日(金)9日間		
旅行費用	20名様以上	15名様以上	10名様以上
	255,000円	278,000円	299,800円
別途費用	燃油サーチャージ(¥29,880)、空港税・諸税(¥6,350)		
	一人部屋追加料金(¥57,000円)※相部屋の方がいない場合も要追加料金		
実施人数	25名様(最低実施人数10名様) ※旅行費用はご参加人数によって異なります。		
申込締切	8月3日(月) ●添乗員1名同行 ●食事条件:朝7回・昼5回・夕3回(機内食を除く)		

■日程表

日次	都市	スケジュール	【 宿泊地 / 食事 】
① 10/29	東京・成田発 ヘルシンキ着 タリン着	昼頃(11:00発予定):空路+フィンランドの首都ヘルシンキへ 夜:到着後ヘルシンキで乗り継ぎ、エストニアの首都タリンへ 夜(20:45着予定):市内のホテルへ	【 タリン泊 / 機内食 】
② 10/30	タリン	午前: タリン歴史地区【世界遺産】の見学 =旧市街を一望する◎ トロンペアの展望台 、中世から街の中心・石畳の◎ ラコエア広場 と素晴らしいゴシック様式の◎ 旧市庁舎 、ヨーロッパでも珍しい14世紀からの◎ 城壁 と旧市街の城門◎ ふとっちょマルガレータ 午後: 中世宗教芸術めぐり =バルトの見どころの1つタリン中世宗教芸術を◎ 聖霊教会 と◎ 聖ニコラス教会	【 タリン泊 / 機内食 】
③ 10/31	タリン発 (約300キロ) ツェーシス着	早朝:陸路、専用車にてエストニアから国境を越えてラトビアで2番目の歴史を有するツェーシスへ 着後: ツェーシス市内見学 =帯剣騎士団が13世紀に築いた◎ ツェーシス城址 、◎ 古都市内の散策	【 ツェーシス泊 / 機内食 】
④ 11/1	ツェーシス発 (約88キロ) リガ着	早朝:陸路、専用車にて13世紀からのハンガ同盟の港町として栄えたバルト3国最古の街・ラトビアの首都リガへ 着後: リガ歴史地区【世界遺産】の見学① =中世から街の中心・石畳の◎ 市庁舎広場 、第二次大戦～スターリンによる大量流刑までのラトビアにおけるソ連占領を伝える◎ ラトビア占領博物館	【 リガ泊 / 機内食 】
⑤ 11/2	リガ	午前: リガ歴史地区【世界遺産】の見学② =古都リガの至宝と呼ばれる◎ リガ大聖堂 、中世の住宅が残る◎ 「3人兄弟」の家 、◎ 聖ペテロ教会 、調金細工と彫刻が個性的な◎ ブラックヘッドの会館 午後: 自由行動/OPユーゲントシュティール建築群 (外観見学)と◎ 巨大な中央市場の散策の半日観光	【 リガ泊 / 機内食 】
⑥ 11/3	リガ発 (約295キロ) ヴィリニウス着	早朝:陸路、専用車にてバルト最南の国であり、ヨーロッパで最大の旧市街を有するリトアニアの首都ヴィリニウスへ 着後: ヴィリニウス歴史地区【世界遺産】の見学 =遷都した際の塔◎ ゲチミナスの塔 と◎ 夜明けの門 夕刻: OPリトアニア民族舞踊の見学	【 ヴィリニウス泊 / 機内食 】
⑦ 11/4	ヴィリニウス発 カウナス着 カウナス発 ヴィリニウス着	午前:リトアニア第二の都市カウナスへ(約100キロ) 着後: 「日本のシンドラ」杉原千畝ゆかりの場所を見学 =「命のビザ」を発給し、6000人のユダヤ人を救った場所◎ 杉原千畝記念館(旧日本領事館) 、ナチスドイツが5万人のユダヤ人を収容・各地へ移送した◎ 第9要塞博物館 、旧ソ連時代の壘行を伝える◎ KGB博物館 夕刻:陸路、再びヴィリニウスへ(夜着)	【 ヴィリニウス泊 / 機内食 】
⑧ 11/5	ヴィリニウス発 ヘルシンキ経由	午後:空路+フィンランドの首都ヘルシンキへ～ヘルシンキ乗り継ぎ～ 午後:空路+帰国の途へ	【 機中泊 / 機内食 】
⑨ 11/6	東京・成田着	午前(10:00着予定):到着後、入国審査・解散	【 / 機内食 】

●利用予定航空会社:フィンランド航空(※往復エコノミークラス) ●宿泊予定ホテル(以下同等クラス):タリン(エルミタージュ)、ツェーシス(コロンナ)、リガ(コンベンタ・セタ)、ヴィリニウス(コンティ)
 注:日程中のマーク:●印=入場見学、○印=下車見学、○印=車窓見学、机=食事付、自由食、機内食

●6000人のユダヤ人に「命のビザ」を発給し続けた外交官

●杉原 千畝(すぎはら ちうね)
 1900年(明治33年)～1986年(昭和61年)
 1939年(昭和14年)8月28日カウナス領事館着任～
 1940年(昭和15年)8月31日カウナスを出る



●「命のビザ」
 第二次大戦当時、ポーランドとリトアニアには、多くのユダヤ人が暮らしていた。1940年にナチス・ドイツ軍が追撃している西方に退路はなく、トルコ政府がビザの発給を拒否～もはや逃げ道はシベリア鉄道を経て極東に向かうルートしかなくなっていた。ドイツ占領下のポーランドからリトアニアに逃れてきた多くのユダヤ系難民などが各国の領事館・大使館からビザを取得しようとしていたが、当時のリトアニアはソ連軍に占領されており、ソ連が各国に在リトアニア領事館・大使館の閉鎖を求めていたため、業務を続けていたカウナスの日本領事館に殺到した。「忘れもしない1940年7月18日の早朝の事であった」と回想する千畝は、あの運命の日の光景を「6時少し前、表通りに面した領事公邸の寝室の窓際が、突然人だかりの喧しい話し声で騒がしくなり、- (中略) - ゴツと100人も公邸の鉄柵に寄り掛かって、こちらに向かって何かを訴えている光景が眼に映った」と手記につづっている。
 日本の外務省から先国の入国許可手続を完了し、旅費及び本邦滞在費等の携帯金を有する者にのみ査証を発給せよとの指示に反し「人道上、どうしても発給を拒否できない」という理由から受給要件を満たしていない者に対しても独断で、この地を離れる1940年8月31日に列車がカウナスを出発するまで通過ビザを発給し続けた。
 国家や政府の枠を超え、自らの危険も顧みずに6000人にのぼるユダヤ人を救った「日本のシンドラ」と呼ばれる。

タリン
 13世紀に創設された町。下町は、おもにドイツ商人が築いたもので、ハンガ同盟都市として繁栄。町を取り囲む城壁、教会、市庁舎、ハンガ商人の住居や倉庫などが、中世そのままの姿で保存されている。

ツェーシス
 9世紀頃、騎士団による占領後、城を中心に町が建設されハンガ同盟にも加盟し繁栄。現在は、「最もラトビアらしい」と愛されている。旧市街の坂道と曲がりくねった小道、城址や城公園、近郊の断崖や大岩、湖上の要塞など大自然も見どころ。

リガ
 バルト海に一世を風靡したハンガ同盟の中心的な街。13世紀に住民をキリスト教徒化するため、十字軍騎士団とともに上陸したドイツ人僧正により創設された。旧市街には、教会や商人の住居、石畳の細い道などが残り、中世の面影を今に伝えている。

ヴィリニウス
 歴史的にポーランドとのつながりが深く、バルト三国のほかの首都のようなハンガ同盟による影響も受けていない。「小さなローマ」とも呼ばれる美しい街並みの旧市街とアール・ヌーヴォー建築が、ヨーロッパで最も集中して見られる町。

オプション・ツアー ユーゲントシュティール建築群と中央市場
 ●15,000円(お一人様料金) ●10名以上で実施 ●専用車・ガイド・昼食付 13:00-18:00頃
 ●ユーゲントシュティール(建築群):19世紀～20世紀にかけて流行した新建築様式アール・ヌーヴォーのドイツ語。奇抜なデザインは、人や花などをモチーフにしている。
 ●巨大な中央市場:巨大な空間に凄然と店が並び、色とりどりの果物や野菜、肉やチーズが積み上げられ、そこでクラス人々の生活のいたんを垣間見ることができる。

●異国情緒あふれるノスタルジックなバルトの国々へ

“古き良き中世”と多くの旅人に愛される異国の文化と雰囲気の色濃く残すノスタルジックで魅力あふれる「バルト3国」とは、バルト海沿岸にならぶエストニア、ラトビア、リトアニアの3か国の総称。各首都の旧市街地区が世界遺産に指定されるほど異国情緒あふれるたまたまの反面、18世紀に次々と帝政ロシアの支配下に。ロシア革命後に独立するもソ連に併合され、半世紀後の東欧革命の際に、再度独立を果たす激動の歴史を有する石畳と城壁、ハンガの面影、ヨーロッパとロシアの文化が交差する国々を訪れ、世界遺産の旧市街、趣のある細い小道など見どころ満載です。

エストニア Estonia

ヨーロッパ北東部、バルト海に面するエストニアは、最北のハンガ同盟都市であるタリンを首都とする。中世の薫り漂うタリンの旧市街は、歴史都市としてユネスコ世界遺産に登録されています。エストニアには150年以上の歴史をもつ医療目的の泥スパや美容のためのスパなども充実し、ヨーロッパの隠れ家的な存在として近年人気が高まっています。日本とはひと味もふた味も異なった花鳥風月が感じられる国エストニア。

ラトビア Latvia

800年以上の歴史を誇るラトビアは、バルト3国の中心に位置する国です。貿易の要所として栄え、これまで多くの人々や文化を快く受け入れてきました。「バルトの真珠」とも讃えられる首都リガの旧市街・歴史地区は世界文化遺産に登録されるほど、美しく、13世紀ハンガ同盟の面影を残すパロックの街並みやアールヌーボーなどの建造物が数多く現存し、中世の面影が色濃く残る港町として知られています。

リトアニア Lithuania

バルト海の東部に位置するリトアニアは、国土の98%が農地と森林に覆われた大小合わせ約4000の湖を有する「森と湖の国」。「小さなローマ」とも呼ばれ、美しい首都ヴィリニウスの旧市街は、世界遺産に登録される異国情緒にあふれた古都。また、第二次世界大戦中、「日本のシンドラ」と呼ばれる外交官の杉原千畝が、ユダヤ人救出のための「命のビザ」を発給した国。旧ソ連時代からも「奇跡の独立」を果たしたリトアニア。

オプション・ツアー リトアニア民族舞踏とディナー
 ●19,500円(お一人様料金) ●10名以上で実施 ●専用車・ガイド・夕食付 19:00-21:00頃
 ●音楽、衣装、ポルカの3王国リトアニア:ポルカの国リトアニアの民族音楽は、明るく元気なもの。民族衣装をまとい、音楽に合わせてカタカタと木靴を響かせながら踊ります。民族舞踏で有名なものは「夏至祭の踊り」や「脱穀の踊り」、「結婚の踊り」、そして「祝日のポルカ」などが各地で継承されている。